

新体制 郡山支部 掲載



副支部長



副支部長



支部長



副支部長



会計理事

Architects's style



情報・広報委員長



会員拡大・交流委員長



総務・企画委員長



講習・まちづくり委員長



青年委員長



郡山支部第66回通常総会にて
新体制が決定！



女性委員長

～目次～

- 2 ページ 新支部長挨拶
- 3 ページ 新副支部長挨拶
- 4 ページ 新副支部長挨拶
新会計理事挨拶
- 5 ページ 新総務・企画委員長挨拶
新会員拡大・交流委員長挨拶
- 6 ページ 新講習・まちづくり委員長挨拶
新情報・広報委員長挨拶
- 7 ページ 新青年委員長挨拶
新女性委員長挨拶
- 8 ページ 郡山支部新組織表&編集後記

建築士 こおりやま

No. 56 平成28年 9月発行

福島県建築士会郡山支部 支部長就任挨拶

公益社団法人福島県建築士会郡山支部 支部長 高橋 孝行



この度の第66回通常総会において支部長の職を仰せつかりました高橋孝行です。歴代会員が築き上げてきた伝統ある建築士会郡山支部の支部長として会員の皆様にも少しでもお役に立てる様に、一生懸命頑張ってお参る所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

また、この度退任されました役員の皆様、そして堀井勝典直前支部長におかれましては、4期8年の長きに渡り建築士会郡山支部の発展にご尽力いただき誠にありがとうございました。会員を代表いたしまして心より感謝申し上げます。今後とも会の発展の為に更なるご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

さて、堀井支部長就任中は支部長の強力な指導力のもと社会貢献活動や各種交流活動など積極的な活動を行って参りました。そのような中、2011年3月11日の東日本大震災が発生しました。震災直後の混乱の中、私たち建築士会は郡山市職員と共に応急危険度判定活動を真っ先に行いました。その後の2011年9月22日の台風による水害災害時には、行政からの依頼を受け被災建物調査を行っております。また、原子力発電所事故災害においては除染管理委託業務等を郡山市より受託し、災害の復旧、復興の一役を担うことが出来ました。

さらに一昨年の第57回全国大会（福島大会）はビックパレットで開催され、郡山支部は式典部会を担当しました。その会場の設営や運営に携わり、そして最大イベントである大交流会を成功裡に終わらせることが出来ました。このような激動の時期に会の運営を積極的に行って頂いた前支部長及び前役員の皆様にも改めて敬意を表します。

さて、郡山支部はこの様に地域に密着した多くの活動を行って参りました。しかしながら残念なことに一般の市民の皆様を初め、多くの建築士の皆様にもまだまだ認識されておおりません。まずは多くの皆様に建築士会を知って頂き、特に入会されていない建築士に興味を持ってもらうことが必要かと思っています。そのためには建築士会として地域活動や建築士の交流を積極的に行い建築士の地位の向上にも努めて参りたいと思います。

現在の会員数は286名を有していますが、まだまだ多くの建築士の仲間が入会されていません。建築士会は建築士の個人の集まりですが、色々な情報を必要としている人が沢山います。建築士会として、多くの建築士の仲間が集い活動できる場を作り、その情報をタイムリーに発信し多くの仲間を増やしていきたいと思っています。

私は、建築士会郡山支部を活発な委員会活動を通して「楽しく、愉快で、わくわくする建築士会」「入会して良かったと思える建築士会」「開かれた柔らかな建築士会」にしたいと思っています。

最後になりますが、支部長を務めるに当たり大きなプレッシャーと不安がありますが、私のすべき事を認識し建築士会郡山支部を素晴らしい会として発展させるために、粉骨砕身務めて参りますので、会員皆様のご協力をお願いいたします。

福島県建築士会郡山支部 副支部長就任挨拶

公益社団法人福島県建築士会 郡山支部 副支部長 水上 朗



このたび、副支部長に任命されました、水上、朗です。

建築士会という歴史ある団体に入会させていただき40年が過ぎました。私自身、建築に対して、まだまだ経験不足を痛感する毎日を過ごしています。会員皆様のご協力とご理解をいただきながら、支部長の運営方針を理解して、建築士会の活動を補佐し、会員の皆様の親睦のために、微力ながら力を尽くす次第です。

3.11から5年の年月が過ぎ、建築業界もやっと先の見えない、長く暗いトンネルを抜けたような気がします。やっと抜け出した闇の世界の先にあるのは、5年間の反動の長い停滞の始まりなのか、新しく胎動を始める建築業界の新世界なのか。答えの見えない不安と、何かを始められるかも知れない期待と楽しみの毎日です。

建築の世界の中で、建築士会の役割は、会員同士の交流と理解、加えてお互いの協力が大変重要な役割と思います。広い世の中で、同じ羅針盤を持ち、力を合わせて嵐を乗り切る帆船のように。

私事ですが、建築設計という夢の世界に参加させていただき長い時間が過ぎました。

職業を初めて意識した子供のころ、建築の設計に携わりたいと思い62歳になった今もその考えは少しも変わっていません。夢だった職業を、生活の中心の場として、生活の糧を得る手段として毎日を楽しみながら過ごしています。

仕事を離れて、新たな生活を始めた知人たちも沢山いますが、私の場合、幸いにして、老いてからも続けられる仕事を選択したようです。大好きな建築設計を、この先の人生の中から手放すことなく、傍で過ごすつもりです。

福島県建築士会郡山支部 副支部長就任挨拶

公益社団法人福島県建築士会 郡山支部 副支部長 齋藤 いち子



このたびの通常総会におきまして副支部長に選任され、情報・広報委員会と女性委員会を担当させていただくことになりました。郡山支部では初めての女性副支部長ですが、女性会員の活動が活発なので、今後も女性に引き継がれるようになればと考えています。

まずは、担当する情報・広報委員会に参加してみました。会報誌発行の準備があるため、早々に委員会を開催して活動を始めました。会員拡大や支部の活性化も視野に入れつつ、スピーディで強力な指示のもと進められています。

女性委員会では、「ヘリテージ」をテーマとした「女性建築士のつどい」が7月半ばに郡山市で開催されました。企画・準備から実施まで役員の方々の負担は大変なものですが、研修会・懇親会ともに能力とパワーが発揮され、大いに盛り上がりました。

つどいでは各支部の活動報告が行われますが、建築士会のアピールや会員勧誘の活動を地域の方々と積極的かつ楽しんで行っている支部がありました。郡山も会の活性化や会員増強という課題は同じで、地域に寄り添う視点が大事になります。市民や建築士の卵、子供が参加してのイベントやワークショップを街中に飛び出して実施することで、地域との交流や新たなつながりができます。テーマは、街の歴史や文化以外にも、日々の暮らしと住まいなど身近なものがいろいろあるはず。地域の人や建築士の卵に、建築士会とは何なの？と興味を持って会報やHPなどを見てもらえるようになればいいですね。

どうぞ皆様方のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

福島県建築士会郡山支部 副支部長就任挨拶

公益社団法人福島県建築士会郡山支部 副支部長 佐久間 宏一



<変化と共有>

最近のどうでもいいと思えるもの・進歩しているようでそうでも無いように思えるもの：Windows7以降のコンピューターとソフト。クラウド。スマホ・アプリ・ゲーム。SNS。無用に断熱性能を高めようとする法規制。そして公益社団法人。私たちの身の廻りの社会環境は、けっして容易では無いようだ。

東日本大震災が、私たちに様々なことを感じさせ、考えさせたこと：自然の脅威。理不尽。変わる。変える。我慢。忍耐。辛抱。成長。伝える。伝わる。つなぐ。つなげる。絆。歴史…。

せっかくの機会に、学ばない手は無い。例えば共に活動することの大切さ。意識の共有があればさらに結構！例えば、郡山建築士会の実績と歴史。私たちは先人と共にそれらを共有出来る。未来に活かすことが出来る。

今私たちは変化という時代と社会に生きている。建築士の資格は取っても食えない足の裏の飯粒と同じと言われていた時代から、誇りの持てる時代に変化できるかもしれない。

郡山建築士会は、その努力と勇気と行動力のある団体でありたい。

福島県建築士会郡山支部 会計理事就任挨拶

公益社団法人福島県建築士会郡山支部 会計理事 蔭山 寿一



会計理事を拝命して

昭和62年4月に建築士会に入会させていただいて以来、早いもので29年が過ぎておりました。私の人生のちょうど半分に当たります。(これからは、人生の半分以上を占めることになるのですね～?) その間、前会長や前支部長など諸先輩の御指導を受け、親睦委員長や総務講習委員長などを経験させていただきました。

親睦委員会では忘年会、親睦研修旅行、ゴルフコンペ、そして全国大会などを企画。総務講習委員会では、総会や講習、研修会等を企画させていただきました。建築士会員の皆様のご指導はもとより、参加ご協力により楽しくイベントを催すことができました。改めて会員の皆様に感謝申し上げます。是非これからも多くの会員の皆様に、参加することの楽しさ、そして自ら企画することの楽しさを味わっていただきたいと思います。

そしてこの度、高橋新支部長の元、会計理事を仰せつかりました。高橋新支部長は会員皆が楽しく参加できる建築士会を目指しております。私は会計理事として高橋新支部長を支え、東京都の舛添知事のようなことが起きないように、楽しく参加できる(不正運用の無い)しっかりとした会計運用に努めてまいりたいと思います。会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

総務・企画委員会 委員長就任挨拶

総務・企画委員会 委員長 幕田 宙晃



委員会方針

本年度より、総務・企画委員会委員長を務めさせて頂くことに成りました幕田宙晃でございます。宜しくお願い致します。お陰様をもちまして、建築士会郡山支部での活動も15年以上を数え、10年以上…務めさせて頂きました青年委員長も無事に卒業し、またこの新たなる役職を引き受けさせて頂くことに成りました。どっぷりと、青年委員会に浸かっていた私ですが、気を取り直して、この総務・企画委員会で更なる建築士会への気付きと、真髄を体感していきたいと思っておりますので、改めて、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

さて、本年度からの総務・企画委員会は、支部の基本方針の策定に関する事、各種事業計画等の立案および運営の参加協力を行っていくと共に、諸会議の企画運営や全般的なことを担っていく委員会でございます。支部の要となり、支部が運営する事業や各委員会の活動等が、スムーズに進展する様、大いに建築士会をバックアップ出来ればと思っております。また、時代変化と共に建築士会の在り方が問われつつある昨今、今後の建築士会の諸事業のあり方や運営方法等も、模索して行ければと思っております。まだまだ、若輩者の私ではございますが、今後とも、何卒ご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。

■総務・企画委員会 役割分掌

- ・ 建築士会郡山支部の基本方針の策定に関する事 ・ 事務局の運営に関する事
- ・ 事業計画立案に関する事 ・ 総会・役員会その他、諸会議の企画運営に関する事
- ・ 他の分類に属さない業務の実施

会員拡大・交流委員長就任挨拶

会員拡大・交流委員会委員長 宗像 正浩



今年度、新たな組織のもと会員拡大・交流委員長を務めることになりました。よろしく申し上げます。毎年、若い建築士が誕生しているにもかかわらず、会員数が伸び悩む近年の状況を少しでも改善し、会員相互の親睦を図るお手伝いが出来ればと思ひ引き受けました。

同じ「建築士」の資格を有していても実務はそれぞれ異なり、当然ながらひとり一人考え方も趣味も違います。全会員が満足できるイベントを企画することは難しいと思ひますが、色々な行事を数多く開催することにより各自が興味をそそられるもの、大事だと思われるものを選定して参加出来るようにすることが必要ではないかと考えています。

建築士としての品格の向上を目指す方、新しい技術、工法、材料等の情報を求める方、古今東西の建築物に興味がある方、会員間の交流や親睦を大事にする方、様々な要求に応えられるように、支部長をはじめ、各委員会の方々と協議し、予算や日程が許す限り各種行事の企画、運営を進めていきたいと思ひます。

会員の皆様方には、より多くの行事等に御参加して頂き、そして、充足感で満たされた時は、是非「建築士会は役に立つ、楽しい集まりだ」と、未加入者や建築士を目指している若者にアピールをしてください。結果、会員数が増加するというシナリオです。

少々、甘い考えではありますが、ご協力お願いします。

講習・まちづくり委員長就任挨拶

講習・まちづくり委員会 委員長 大場 俊之



私が建築士会に入会したのは、平成7、8年頃だったと記憶しております。あれから早や20年もの月日が流れ、当時黒々としていた頭髮も、今では相当な割合で白くなってしまいました。

建築士会への入会から10年間は青年部に所属し、委員長（一期）を経験したことも、つい最近のように感じています。気が付けば年齢も50歳を超えた自分がある訳であります。40歳を超えてからの建築士会活動は何をしていたのだろうか？と考えてみると、それほど特別なことはしていなかったと思います。

しかしながら、何かにつけ強制参加メンバーとしてほぼ確実に毎年行われる建築士会全国大会へと拉致？され、各地に赴いた記憶は忘れようにも忘れられず、鮮明に蘇ってくるのであります。本当にたくさんのお思い出？でいっぱいあります。

今回、郡山支部も新しく高橋支部長となり、各委員会も刷新された訳であります。ここにも何か強制めいたものを感じずにはいられない自分があることに気づかされております。

好き勝手なことを申し上げましたが、新支部長からのご指名とあらば、粉骨砕身、委員長としての役目を担当副支部長のご指示を仰ぎながら頑張る所存でございます。会員の皆様にはなにかとお手数がかかるやもしれませんが、何卒ご指導ご鞭撻、そしてご協力をお願い致します。

以上、講習・まちづくり委員長としてのご挨拶と致します。

情報・広報委員長就任挨拶

情報・広報委員会 委員長 立田 尚幸



情報…高橋支部長は何をしたいのだろうか？直接聞いてみた！

建築士会のメンバーが年々減少傾向であり、若い世代が建築士会に入会してこないし、その存在すら知られていないのでは？ 建築士会へ入会する事による会員同士の連帯、情報共有、親睦などメリットを発信したい。とのお考えであった。

なるほど、以前より郡山支部の広報誌は存在し多くの情報を発信してきたが、建築士会内部の共有としての役割が主であったのかな？と私は自分勝手に理解した。

そこで以前より話題に上っては消えていた建築士会郡山支部のホームページを正式に開設する事を目標として行きたい。さらにはフェースブック、LINEなどを有効に利用して会員相互の情報共有、情報公開を進めていきたいと思っている。

しかし、建築士会会員の、「何でもパソコンでやられてもなア〜」のアナログ派と「何でもパソコン」のデジタル派の、相応の深いミゾを埋めていくのが、最難関の問題であろう。

さて、どうするか？考えていてもしょうがないので早速、フェースブックとLINEを開設して「とりあえずやってみるか」という事に…この広報誌が発刊される頃までには運用開始する予定ですので「とりあえずご参加下さい」…

情報の伝え方、伝わり方が大きく変化している中で、組織としてどの様な仕組みで情報共有していくのか、SNSにて情報発信すれば良いという訳ではなく情報格差や情報弱者が生じない環境整備をいかに行うのか、また無責任に発信される情報にて情報難民にならないようにするなど「情報」を今一度見つめ直す機会としたい。

広報誌については、昨年度までの内容を継承しながら、ターゲットを内部だけではなく外部に対して建築士会の事業や取り組みなどを、広報誌発行部数を増やし、行政や学校などにも配布するなど露出して情報発信していきたい。

青年委員長就任挨拶

青年委員会 委員長 今泉 健太郎



新体制の青年委員会！

若さあふれる！青年委員会をまとめてくれるのは音楽家？建築家の佐久間宏一副支部長です。そして若輩ものの私を委員長とし頼りになる男性7名、女性5名の総勢12名で元気に活動していきます。今年度の活動内容は、今年の4月に文化庁が認定した有形、無形の文化財として、その地域の魅力を発信する「日本遺産」に登録された安積疎水（未来を拓いた一本の水路）に関連した、大正13年に郡山西部地域の水不足を解消するため建設された歴史的建造物「逢瀬川第一取水場」を取り上げます。当時としては珍しい鉄筋コンクリート造で小屋組は鉄骨トラス。外観は落ち着きがあり、建物正面にデザインとして半円窓があり、桁行にはシムリに縦長窓が並んでいます。大正12年に関東大震災があったので、翌年の建設とすれば少なからずその影響を受け鉄筋コンクリート造になった時代背景があったのかもしれませんが。青年委員会ではこの取水場の建築的な歴史調査と「保存」・「再生」に向け活動をしていく予定ですが、現在市水道局では解体に向けてすでに動いている事がわかりました。以前この近隣地域でも取水場保存に向けた活動があり、今後は地域の方々と連携を取りつつ、まずは保存に向けた活動を進めたいと考えています。日本遺産の関連施設とし、また歴史的背景があり地域の共有財産としての意味合いを探りながら、この「取水場」に新たな命を吹き込み次世代へ伝えていきたいと考えています。

皆さん…取水場のすぐ横には川沿いの散歩道…

朝早く散歩をする人達を見かけます。

隣は逢瀬川が流れ、鯉が泳いでいます。

まわりは緑が多く4月には逢瀬側土手沿いのきれいな桜並木が満開…

皆さん！イメージ湧いてきましたか…

保存の先にある「再生」が…

女性委員長就任挨拶

福島県建築士会郡山支部 女性委員会 委員長 村越 のぞみ



女性委員会はこれまでも、毎年本部主催で開催される「女性建築士のつどい」参加や各種勉強会、見学会など、自分達にできる範囲で、集まれる日時に地道な活動を続けて参りました。おかげ様で郡山支部会員の30余名中、約半数の方々が活動に参加され、近年支部の総会や忘年会なども女性の参加数が増えて華やかになってきた事と思います。

新体制になり、これまでの活動に加えて目指そうと考えている事が二つあります。

第一に、「アーキ・ウー .com」フェイスブック版の立ち上げです。

女性委員会では数年前から、この広報誌とは別に委員会独自の会報を発行しております。活動の記録にもなり、大変ご好評を頂いているのですが、新規会員を募るには印刷物よりSNSでリアルタイムの情報を広く配信する方が、会の活動に興味を持ってもらい易いのではないかと考えています。

第二に、他委員会との連携です。

女性会員はその性質上、理事になっている方々を中心に、全ての女性会員が「女性委員会」と他の委員会を掛け持ちしての活動となります。これはつまり、全ての委員会に女性が所属しているということに他なりません。

女性は連携が得意です。この「連携力」を活かし、他委員会と積極的に連携して行く事で、支部の活動が更に活性化する一助になればと考えています。

今後も女性ならではの感性を活かしつつ、一歩ずつ着実に前に進めたらと思います。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

福島県建築士会郡山支部 組織図

顧問	松隈仁吉
	古川弘
	堀井勝典

支部長
高橋孝行

副支部長	水上朗	担当：総務・企画委員会／講習・まちづくり委員会
	佐久間宏一	担当：会員拡大・交流委員会／青年委員会
	齋藤いち子	担当：情報・広報委員会／女性委員会
会計理事	蔭山寿一	

総務・企画委員会	
委員長	幕田宙晃
副委員長	渡邊平
	阿部治江
委員(理事)	
遠藤隆	宗像恭一
宗像晴也	

会員拡大・交流委員会	
委員長	宗像正浩
副委員長	星芳道
	坪井道子
	田母神一吉
委員(理事)	
加藤広幸	佐川久美子
水上剛	光本明充

情報・広報委員会	
委員長	立田尚幸
副委員長	今泉雄二
	村越のぞみ
委員(理事)	
菅野哲司	酒井直樹
土屋彩子	村上淳子

講習・まちづくり委員会	
委員長	大場俊之
副委員長	金田岩光
	宗像智加枝
委員(理事)	
江口夏希	菅野勝弘
佐藤政弘	島田マリ子

青年委員会	
委員長	今泉健太郎
副委員長	帆刈大輔
	清利幸
委員(理事)	
今泉雄二	江口夏希
金田岩光	菅野哲司
土屋彩子	坪井道子
水上剛	村上淳子
村越のぞみ	

女性委員会	
委員長	村越のぞみ
副委員長	村上淳子
	鈴木順子
委員(理事)	
阿部治江	江口夏希
佐川久美子	島田マリ子
土屋彩子	坪井道子
宗像智加枝	

監事	遠藤昌宏
	藤田正治

※理事役員以外の一般会員は会員拡大委員会・交流委員会に所属する。
 ※平成28年4月1日以降の45歳以下の会員は青年委員会に所属する。
 ※すべての女性会員は女性委員会に所属する。

編集後記

思った通りには成らないが やった通りには成る(荒了寛)

各委員会が事業計画を作成し新年度が動き出しました。すべての委員会名を刷新し「ワクワクする建築士会にしたい」と、各委員会へ想いを伝え高橋新支部長の思ったことが、どの様に事業展開していくか楽しみである。

今回の広報誌発行は、タイトなスケジュールの中、役員の方々の皆さまで、そして各委員長の皆さまでのご協力を頂きまして予定通り発刊する事ができました。書面にて御礼申し上げます。

(公社)福島県建築士会郡山支部

郡山市大町一丁目2番23号KIKビルW22(西2階) TEL&FAX 935-2151